

# 農 大

# だより

令和7年6月3日発行  
愛知県立農業大学校

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2  
Tel: 0564-51-1601 Fax: 0564-51-4831  
E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp  
ホームページ: <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>

令和7(2025)年度版



## 鉢物・緑花木専攻



## CONTENTS

- 1 専攻紹介 (鉢物・緑花木)
- 2 販売実習のおすすめ商品
- 3 専攻トピックス
- 4 トピックス  
学生会  
農業技術研修・経営管理研修
- 5 お知らせ  
オープンキャンパス  
令和8年度入学者選抜試験
- 6 SNS投稿 dialy

愛知県立農業大学校  
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



専攻紹介

はちもの りよっか ぼく  
鉢物・緑花木専攻



鉢物・緑花木専攻は、日本一の生産を誇る愛知県の花を支える“気概ある学生”13人(2年生6人、1年生7人)がメンバーです。広さ1,400m<sup>2</sup>の温室と250m<sup>2</sup>のビニルハウスで、年間5万鉢・200種類以上の植物を4つの部門(鉢花、観葉植物・洋ラン、緑花木)に分かれて育てています。

栽培した植物は、市場出荷だけではなく、毎週水曜の実習販売や毎年12月の農大祭で販売しています。季節ごとによって変わっていく旬の花や実習で作成した寄せ植えや、室内でも楽しめるように加工した商品も販売しています。また、県内外の関係施設を見学して、よりよい生産方法や需要に応じた販売方法を学んでいます。

私たちの生産した花が、それを見た方、買ってくれた方の心の癒しとなり笑顔になってもらえるよう、日々、楽しく実習を頑張っています。

実習販売の様子



鉢花



鉢花の栽培では、種から芽が出て、花が咲くまでを見届けてから出荷できることが楽しいです。良い品質のものを作れるように頑張っています！



【栽培種類】  
シクラメン、ニューギニアインパチェンス、ペゴニア、ポインセチア、花苗など



観葉植物



観葉植物は、室内インテリアに最適な植物です。販売の要となる品目を見つけ、寄せ植え等の加工技術を活用し売れる商品を作りたいです。



【栽培種類】  
アンズリウム、スパティフィラム、ポトス、カラテア、フィットニア、シンゴニウム、など



# 洋ラン



洋ランは商品にするまで3年ほどかかる品目が多いです。洋ラン特有の作業や管理が多く、大変な部分も多いですが、やりがいのある品目ばかりです！

### 【栽培種類】

シンビジウム、コチョウラン、デンドロビウム、多肉植物など



# 緑花木



緑花木では、アジサイやミニバラなどの王道な品目からちょっと変わった緑花木やパンジー、ペチュニアなどの花苗も作っています。たくさんの品目を見ることができて楽しいです！

### 【栽培種類】

アジサイ、ブルーベリー、フックスウ、ミニバラ、マーガレット、苗物など



県内外の関係施設への校外学習



農大祭で恒例の花販売



ハイドロカルチャーやテラリウム



楽しい加工実習



寄せ植え

ハーブを使ったパスタ



## 販売実習 おすすめ産品

農大では、毎週水曜日午後3時から学生が栽培した農産物の直売(実習販売)を行っています。

### <養 鶏>

さまざまな種類の卵パックと本校で生産された名古屋コーチンの卵を使ったプリンも販売しています。卵は赤玉と白玉からなる紅白ミックスや名古屋コーチンに加え、烏骨鶏、アローカナなどの希少鶏種の卵、通常よりサイズが大きい二黄卵も取り扱っております。是非お越しく下さい。



### <鉢物・緑花木>

季節ごとに様々な鉢物や苗物を販売しています。5月のアジサイ、6月のニューギニアインパチェンス、7月～9月のヒマワリやコスモスなどの花苗に加え、春～秋は観葉植物や多肉植物のハイシーズンで何種類もの品目が直売に並びます。11月以降は、シクラメン、ポインセチア、シンビジウム、コチョウランなど贈答用にも最適な品目が目白押しです。お楽しみに！



### <切 花>

バラ、ストック、ヒマワリ、キクなど季節の花を、一束5～7本入りで販売。お勧めは、最近栽培を始めたピンクのバラ「リメンブランズ」、ピンクのスプレーバラ「ファンシーローラ」、いつまでも色あせない「スターチスのドライフラワー」です。

季節のイベントに合わせて、ミニブーケ、花束を作成して販売することもあります。お気に入りの花を見つけにお立ち寄りください！



## <作物>

化学農薬と化学肥料を使用しない環境にやさしい栽培法で作ったお米をはじめ、多種多様な品種を販売しています。

ほ場にはカエルやカブトエビ、ザリガニ等が生息しています。豊かな生態系の中で栽培されたお米をぜひご賞味ください。



## <果樹>

ブドウやナシをはじめ多くの品目を販売しています。毎年、直売ではブドウ「シャインマスカット」やナシ「幸水」など、癖がなく食べやすい品種が人気です。

他にも、本校では品目ごとに数多くの品種を栽培しており、中には一度食べたら、やみつきになってしまうような癖の強い品種も多々あります。今年はいろいろな品種に挑戦してみませんか。



## <露地野菜>

年間を通して40品目の野菜を販売しています。どの野菜も新鮮で美味しいと評判で、直売で人気です。

特におすすめなのは6月から10月まで収穫する採れたてのスイートコーンと12月から6月まで収穫する完熟イチゴです。どちらも甘みを強く感じられるため人気になっています。

そのほかにも、ロメインレタスや芽キャベツ、ロマネスコ、伝統野菜の越津ネギなど、珍しい野菜も栽培していて、幅広い野菜を販売しています。



## <施設野菜>

大玉トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、アールスメロンなど果菜類が中心です。

7月から9月までは植え替え期間のため販売をお休みしますが、10月下旬~6月下旬まで多くの品目を販売しています。

最近では食味向上にも取り組み、「旨味のあるトマト」などブランド化した商品も販売しています。



# 専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！

## ○専攻別学生数

(注)カッコ内は女子の内数

区分	鉢物・緑花木	切花	作物	果樹	露地野菜	施設野菜	酪農	養豚・養鶏	計
1年	7(0)	11(3)	6(1)	15(4)	15(3)	13(2)	17(12)	8(3)	92(28)
2年	6(0)	8(2)	8(2)	13(3)	13(4)	15(2)	9(4)	4(4)	76(21)
計	13(0)	19(5)	14(3)	28(7)	28(7)	28(4)	26(16)	12(7)	168(49)



鉢物・緑花木

## アジサイの出荷が最盛期！！

鉢物・緑花木専攻で栽培するアジサイの出荷が最盛期となっています。

当校で栽培するアジサイは品種のバリエーションが豊富で、栽培温室では様々な花色や花形を持つアジサイが咲いています。今年度のアジサイは学生が試行錯誤しながら丁寧な栽培管理を行ったので、非常に品質の良いアジサイを作ることができました。今月中旬まで直売でも積極的に販売しますので、是非お手にとってみてください！



切花

## フラワーアレンジメントに挑戦しました！

2年生の加工演習の授業でフラワーアレンジメントが始まり、今後あと4回実施します。

今回はフラワー装飾技能士検定に用いられるブートニアとブーケを作成しました。初めての花束のリボン作りに苦戦しつつも、なんとか形になり、最後は見事な花束が完成しました。この実習で学んだアレンジメント技術を磨き、農大祭ではたくさんのお花束を作って販売していく予定です。





露地野菜

## 雨間を縫って

5月に入り、気温がじわじわと上がり始め、雨の日も増えてきました。そんな中、露地野菜専攻では玉ねぎの収穫を行いました。

今回収穫した玉ねぎはいわゆる新玉ねぎと呼ばれるものではなく普通の玉ねぎのため乾燥させる必要があります。本来であれば雨が降ろうが槍が降ろうが作業を行います、乾燥させるために雨が降らない数日間を狙って収穫を行いました。かなり忙しく大変な作業になりましたが、学生同士で声を掛け合い素早く収穫を完了してくれました。



施設野菜

## トマトの目揃会を行いました！

4月から新1年生が加わりましたが、まだまだ出荷規格の認識が不十分なことから、トマト担当が集合して目揃会を行いました。

学生がトマトを等級ごとに仕分け、なぜこの等級になるのか考えを議論することで、各学生の認識を統一することができました。

これからはさらに出荷調製を正確かつスピードアップできることを期待したいです！



作物

## 今年も田植えが始まる!!

今年も4月下旬から田植えが始まりました。昨年同様、3月、4月と雨が多く、ほ場に入れなかったため、耕起等の作業が進まないことで苦慮した場面もありましたが、無事に田植えを始めることができました。

学生は可変施肥で田植えを行ったり、緑肥による栽培試験を行ったりなどそれぞれテーマを持って作業を進めています。

今年もおいしいお米を作るために、農作業を進めていきたいと思えます。





## 果樹

### ハウスブドウの袋かけをしました♪

5月下旬、果樹専攻の2年生が、加温ハウスブドウの袋かけをしました。

果樹専攻では、毎年加温ブドウで学生ごとの担当列を決め、花穂整形、ジベレリン処理、摘粒作業等の房管理を行っています。20日に行った袋かけを最後にブドウの房管理は終了となり、後は果粒が大きく肥大するのを待つのみです♪

収穫は7月上旬を予定しています。沢山の美味しいブドウを皆さんに届けられることを楽しみにしています♪



## 酪農

### 今年度初分娩

今年度初めて牛の分娩がありました。1年生にとっては入学後初めての経験となるため、分娩介助の方法の講義を行うなどしっかりと準備をしました。残念ながら、子牛の誕生は1年生の授業時間と重なってしまい、2年生だけが立ち会うこととなりました。子牛は分娩が逆子だったため、介助が必要となりましたが、2年生がしっかりと対応して、今では元気に育っています。



### 春ヒナを導入しました

農業大学校の養鶏専攻では春と秋の年2回、ヒナを入雛します。これまで、愛知県特産地鶏の名古屋コーチンを始め、ボリスブラウン(赤玉鶏)やジュリアライト(白玉鶏)、特殊鶏の烏骨鶏、アローカナを飼育してきましたが、昨年度から農業大学校の地元の「岡崎」の名前が付いた「岡崎おうはん」も導入しています。

学生はヒナから成鶏までの飼養管理、成鶏になってからの採卵、そして廃鶏として肉になるまでの一連の流れを学びます。

この時期は日毎の気温差が激しく、ヒナに適切な環境を維持するためのボイラー調整が大変ですが、経験豊富な2年生の指導のもとで、1年生も慣れない温度・湿度の鶏舎内で汗を流しながら、今後ヒナを観察し鶏を見る目を養っていきます。



## トピックス

## 令和7年度学生会定期総会・全体集会在開催されました

5月13日(火)に学生会定期総会が開催されました。学生会5役による運営はスムーズに進行し、令和7年度学生会活動が順調にスタートすることができました。

続いての全体集会では、生活指導や学生会等からの連絡があり、最後に岡崎市視聴覚ライブラリーの職員をお招きして「情報モラル・セキュリティ講座」の講話がありました。



## 令和7年度学生会役員



## 新役員

(会 長)	星井 暁名	
(副会長)	渡辺 拓海	
(書 記)	片山 采女	
(会 計)	原田 颯希	(監 事) 松本 直樹
(役 員)	小野原 陸	

## 学生会会長(星井暁名)あいさつ

学生会は、学生が主体となって各行事の企画・運営をしたり、学校生活や寮生活を充実して送れるように、改善などに取り組んだりするための組織です。

今年度は、学生の意見を多く聞き、早急な対応・改善をしていきます。皆さんの貴重な意見を踏まえて改善し、短い農大生活を有意義なものになるよう尽力していきたいと思っております。

## 農業技術研修を開講しました

5月8日(木)に新規就農希望者を対象とした「農業技術研修」が20~60才代までの受講生28名(男性24名、女性4名)で開講しました。本研修は三河高等技術専門学校と連携して実施しており、翌年1月28日(水)の閉講式までの約9か月間、平日は毎日、本校で研修を行います。

研修生は、主にナス、ピーマン、ダイコン、ニンジン、ハクサイ、ジネンジョなどの露地野菜を、生産から出荷・販売まで実習するほか、就農するために必要な基礎知識も講義で学びます。また、露地野菜だけでなく、切り花や果樹の栽培実習も行います。

今年度も活気に満ちあふれた研修がスタートしました。



## 経営管理研修を開催しました

4月22日(火)に、愛知県農業経営士協会及び愛知県青年農業士連絡協議会と本校との共催で講演会を開催しました。(有)木之内農園代表取締役会長で東海大学熊本キャンパス長でもある木之内均教授が「熊本地震の体験から考える持続可能な農業経営」と題して講演され、県内の各地域から参加した94名が学びました。

先生は、御自分を「生まれも育ちも東京。でも非農家生まれ」と紹介され、どうしても農業をしたくて農家になった経歴から話されました。大学卒業後、すぐに熊本阿蘇で農家として独立し、36歳で(有)木之内農園、41歳で(株)花の海、56歳でくまもと阿蘇県民牧場を設立されました。また、53歳で東海大学教授に就任され、2022年から熊本キャンパス長を務められています。

講演は、2016年4月16日に発生した熊本地震の体験から「農業の復興」について述べられました。はじめに、震災の恐ろしさ、その力の大きさを説明され、県内の被害は総額で1,322億円にものぼり、木之内農園の被害も莫大であったことを示されました。

そして、熊本県出身の農学研究者松田喜一氏の教え「植物は植物から、畜産は畜産から学べ」「答えは現場にあり」「志は高く、生活は低く」「三富主義：幸福とは心・健康・物(お金)」「農業の基本は土づくり、健康な土は生命力に溢れ、安全な作物は健やかな人を育てる」と話され、「農魂」が窮地を救うと熱弁されました。

最後に、先生は農業とは人類になくなくてはならない創造産業であり、将来の農業を担う人材に必要なものは、「発想力・行動力・創造力」であるとまとめられました。



お知らせ

# Open Campus 2025

本年度も、下記の日程で5回開催します。本校の学生も参加して交流を深める機会もあるので、入学に関心がある方はぜひご参加ください！

**6/7 ± 21 ± 7/29 火 8/5 火 26 火**

**9:40～12:00 受付開始/9:20～**

## 日 程

9:40～ オリエンテーション、農業大学校の概要説明  
10:20～ キャンパスツアー（各専攻施設等の見学）  
11:20～ 在校生との交流  
11:50～ 受験相談等（希望者のみ）

● 事前に参加申し込みが必要です。

参加申込みは  
HPから

愛知農大

※ 詳細は本校ホームページを御覧ください。

お知らせ

## 令和8年度入学者選抜試験

### ● 一般推薦入学試験

出願期間 9月30日(火)～10月15日(水)  
試験日 10月31日(金)  
合格発表 11月12日(水)  
試験科目 小論文（800字以内）面接試験  
募集人員：定員100名のうち2/3程度

### ● 一般入学一次試験

出願期間 11月11日(火)～11月26日(水)  
試験日 12月9日(火)  
合格発表 12月18日(木)  
試験科目 数学Ⅰ、小論文（800字以内）、面接試験  
募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください。

願書  
受付中!

## SNS 投稿 dialy

農大公式アカウント: Instagram・X(Twitter)  
アカウント名 **「aichinou dai」**

通番 (投稿日) 内容

2 (4月 21日) トラクター実習



3 (4月 23日) (施設野菜専攻)新体制始動



4 (4月 24日) 農大の木? クスノキ(楠)



5 (4月 24日) ニューファーマーズ研修 開講



6 (4月 24日) 新玉ねぎの収穫



7 (5月 1日) 初めての販売実習



8 (5月 9日) 「安全安心な牛乳を作る」



9 (5月 9日) キク苗の定植



10 (5月 12日) アールスメロンの定植



11 (5月 12日) 水稻の田植え



12 (5月 14日) デラウェアのジベレリン処理



13 (5月 16日) 農業技術研修 開講



Follow Me !!

